



令和3年度 基本評価調書①		所管部局	総合政策部	所管課	国際課	
施策名	国際会議等の誘致推進			施策コード	02061	
政策体系(中項目)	多彩な地域資源を活かした世界が憧れる観光立国北海道の更なる推進			政策体系コード	2(6)B	
知事公約	C0129	総合戦略	A3323	国土強靱化	-	事務事業数 1
SDGs				総合判定	概ね順調	

【1 Plan】

施策目標	本道の知名度向上や国際化の推進、交流人口の拡大等による地域の活性化を図るため、国及び地域の関係者との連携を強化しながら、引き続き、国際会議等誘致の取組を推進する。					
現状と課題	道では、洞爺湖サミット(H20)を契機に国際会議誘致の取組を強化し、数々の国際会議の本道開催を実現したが、直接的な経済効果はもとより、食や観光のPR、人的ネットワークの拡大などの観点から、コロナの情勢を踏まえつつ、引き続き会議誘致に積極的に取り組む必要がある。					
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ○国主催の省庁連絡会議における本道への会議誘致のPR及び国際会議の開催情報等の収集 ○道内市町村やコンベンションビューロー等との情報交換及び会議誘致にかかる諸調整 ○道内市町村やコンベンションビューロー等と関係省庁を訪問し、具体の会議誘致の働きかけ 					
予算額(千円)	R3	0	R2	0	R1	52,000
施策のイメージ						

＜成果指標の達成状況＞ ⇒ 3つ以外の指標は、補助指標調書に記載

指標名①	増加	回数	H29年度	H30年度	R元年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
国際会議等の開催件数(暦年)	目標値		116	119	122	140	94.3%	B
	実績値		119	116	115	-		
設定理由	道内における国際会議等の開催動向を把握する指標として設定。							
分析(主な取組と成果)								
R元年度は、国主催の省庁連絡会議における本道への会議誘致のPRなど、積極的に国際会議等の誘致に係る取組を行うとともに、10月には、G20観光大臣会合を倶知安町で開催するなど、本道の食や観光の魅力を国内外に発信し、開催件数は堅調に推移しているものの、R元年は前年の開催件数を下回った。								

指標名②			R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
	目標値							
	実績値							
設定理由								
分析(主な取組と成果)								

指標名③			R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
	目標値							
	実績値							
設定理由								
分析(主な取組と成果)								

令和3年度 基本評価調書②	施策名	国際会議等の誘致推進	施策コード	02061
---------------	-----	------------	-------	-------

【2 Do&Check】

成果指標	指標名	H29年度	H30年度	R元年度	R元目標値	指標判定
	国際会議等の開催件数（暦年）	119	116	115	122	B
目標（指標）の達成状況	国等との連携を強化しながら、国際会議等の誘致の取組を推進しており、開催件数は堅調に推移しているが、年度後半に発生した新型コロナウイルスの影響も一部あり、目標値を下回った。				指標総合判定	B
連携状況	経済部が所管する北海道MICE誘致推進協議会の構成団体と情報共有を図るなど、効率的に国際会議の誘致活動を実施した。				連携判定	○
緊急性優先性	国が主催する「国際会議等の北海道開催の推進に係る各省庁連絡会議」において、各省庁に対して政府系の国際会議等の北海道開催について要請を行った結果、国際会議等が道内で開催されている。				緊急性優先性判定	○
総合判定の根拠	国際会議等の誘致推進に向けて、国や関係団体との連携を図りながら、国際会議等の誘致に係る取組を実施しているところ、ポストコロナを見据え、これまでの本道における国際会議の開催で培った北海道の知名度や官民協働の機運を活かし、引き続き、積極的な国際会議の誘致の取組が必要。				総合判定（一次評価）	概ね順調

翌年度に向けた対応方針	対応方針番号	内容
	①	新型コロナウイルスの影響により海外との往来が制限された状況にあっても、ポストコロナを見据え、これまでの本道における国際会議の開催で培った北海道の知名度や官民協働の機運を活かし、積極的に国際会議の誘致に取り組む。
②		
③		

〈二次政策評価〉

前年度二次評価意見	対応状況 (R3.3時点)
R3年度二次政策評価	

【3 Action】

二次政策評価への対応	
R4施策の方向性	○新型コロナウイルスの影響により海外との往来が制限された状況にあっても、コロナ禍における安全で安心な会議運営や、オンライン開催などデジタル化への対応にも留意しつつ、今後とも、積極的に国際会議の誘致に取り組む。